

無級、初級、1級、2級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランスについて(案)

平成23年6月20日

東京都スケート連盟フィギュア事業部

日本スケート連盟より無級から2級までのISUジャッジングシステムのウェルバランスのガイドラインが示されたことを受けて、東京都スケート連盟では2011 東京夏季フィギュアスケート・ジュニア競技大会より、無級から2級までの競技について以下のウェルバランスで競技を実施致します。

初級ウェルバランス

演技時間:1 分±10秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否:可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシーケンスを1 回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を行わなくてはならない。(回転数が異なっても同じ種類とする)

* ダブルジャンプは禁止とする。

* シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素:最大1つまで

1ポジションのスピンの(基本姿勢で3回転以上)レベル1 で評価する

1 級ウェルバランス

演技時間:1 分±10秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否:可

ジャンプ要素:最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシーケンスを1 回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類。(回転数が異なっても同じ種類とする)

* 全てシングル認定とする。(ダブルジャンプを試みてよいが、すべてシングル認定をする。)

* シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。(ダブルの回転不足は、シングル認定される。)

スピン要素:最大1つまで

1ポジションのスピンの(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベルは1で評価する

ステップシーケンス:最大1つまで ただし、レベルは1で評価する。

2 級ウェルバランス

演技時間:2 分±10秒

採点プログラムコンポーネンツ:スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

転倒による減点: -0.2

ワルツジャンプの実施の可否: 可

ジャンプ要素: 最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを2回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない。

* シングルの回転不足はすべてUNDER-ROTATION判定とする。

スピン要素: 最大2つまで

1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベル1 で評価する。

1つはコンビネーションスピン(足換え自由)ただし、レベルは1で評価する。

ステップシークエンス: 最大1つまで。ただし、レベルは1で評価する。

無級、初級、1級、2級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランス Q&A

2011・6・20

ジャンプについて

Q1「禁止とされているジャンプを行った場合はどうなりますか？」

A1「禁止のものは、ノーバリュウとなります。」

Q2「シングル判定されるが、実施したダブルジャンプで回転不足の場合はどうなりますか？」

A2「シングル判定後、回転不足の場合はGOEにて通常通り減点されます。質の良いものを行った場合も、GOEにて評価されます。」

Q3「ワルツジャンプを実施した場合点数は付きますか？」

A3「はい、付きます」

Q4「コンビネーションジャンプにおいて、3連続ジャンプは可能ですか？」

A4「今大会は不可です」

スピンについて

Q1「1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で3回転以上)ただし、レベル1 で評価する。」とはどういう意味ですか？

A1「基本姿勢で3回転回ったと認定されたらレベル1、認定されなかったらノーバリューと言う意味です。レベルを上げる要素を試みてもレベルは1より上がりませんが、GOEで評価はされます。(スピンにおける基本姿勢の習得)」

Q2「2級のコンビネーションスピンは何回転すればいいのですか？」

A2「基本姿勢のべ3回転すればレベル1とレベル認定はされます。あとはGOE評価となる」

Q3「2級の1ポジションのスピンとコンビネーションスピンで同じ形のスピンをしてもいいですか？」

A2「構いません」

Q4「1ポジションのスピンおよびスピンコンビネーションはジャンプ入りは可能ですか？」

A4「構いません」

ステップについて

Q1「コリオステップとの違いはありますか？」

A1「ありません」

Q2「レベルを取るために無理やり難しいステップを入れる必要はありますか？」

A1「ターンやステップ、動き、曲との調和など、選手の実力を十分にアピールするポイントとして有効に活用されることを期待しております。プラス評価されるものに関しては、要素点に影響がある点数になってきます。」

* その他

本、大会での初級～2級ウェルバランスはスケートの基本習得を目的としております。レベルにばかりとらわれることなく、スケート本来の技術を審査するためのウェルバランスとなっております。

また、ウェルバランスに関する問合せは一切行っておりません。(問合せは大会運営用) 予めご了承ください。